

交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部

Annual Report 2023

2023年度は以下の **8つの柱** に基づいて事業を実施しました。

助 成

- ① 海上交通バリアフリー施設整備推進（日本財団助成事業）
- ② 共生社会実現に向けた移動円滑化基金事業（日本財団助成事業）
- ③ ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

情報提供

- ④ 交通バリアフリー情報提供システムの運営等

教育・啓発

- ⑤ 交通サポートマネージャー研修の実施
- ⑥ 公共交通事業者等に向けた手話教室の実施
- ⑦ バリアフリー推進のための勉強会等の実施

調査研究

- ⑧ 高齢者・障害者等の移動円滑化のための調査研究



交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

1. 海上交通バリアフリー施設整備推進

離島等における高齢者・障害者等の日常生活及び社会生活航路として重要な旅客船及び旅客船ターミナルのバリアフリー施設整備に対して助成を行い、離島等における高齢者・障害者等の移動の円滑化を図る事業です。日本財団の助成金を活用して実施しています。

【募集期間】 6月1日～7月31日

【審査委員会】 9月12日（対面とオンラインのハイブリッド形式で開催）

- 2023年度の助成金の交付件数は16件（旅客船9隻、旅客船ターミナル7か所）
- 旅客フェリーにおけるバリアフリー設備の適正化に関する調査を実施



■鹿児島県／いわさきコーポレーション
フェリー第十一おおすみ

〔対象設備〕 エレベーター、
バリアフリースイール 等



■北海道／青函フェリー
はやぶさⅢ

〔対象設備〕 バリアフリースイール、
運航情報提供表示装置 等



■沖縄県／安栄観光
フェリーはてるま2（※改造）

〔対象設備〕 エレベーター

2. 共生社会実現に向けた移動円滑化基金事業

2020年パラリンピック東京大会を契機として、「共生社会ホストタウン」の拡大等、地域における共生社会実現に向けた機運が醸成されるなか、日本財団より造成された基金を活用し、地域における先進的なバリアフリーの取組みに対して支援を行っています。

- リフト付き空港アクセスバスの導入に対する助成を実施
[助成対象] 大分交通(2台)、広島電鉄(1台)
- 共生社会ホストタウンを対象に「心のバリアフリー推進事業」を実施
[支援対象] 川崎市、箱根町、大和郡山市、広島市、甲賀市、伊勢市

・各地域において実施されたバリアフリーマップの作成、啓発動画の作成、バリアフリー教室やセミナー等の開催等を取組を支援しました。

- 「共生社会バリアフリーシンポジウムin明石」を開催
- 航空機バリアフリータラップ導入に向けた関係者協議を開始
- 学校避難所整備の支援に向けた協議を開始



大分交通／リフト付き車両



広島電鉄／エレベーター付き車両



啓発動画「119万通りの人生を、想う。」(広島市作成)

3. ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

交通バリアフリーに関わる先進的な調査研究や活動、技術の研究開発を行う若手研究者等に対して助成を行い、国内の交通バリアフリー促進に寄与する事業を実施しています。

【申請受付期間】 11月1日～11月30日 ※2024年度の研究・活動事業

【審査委員会】 2月8日（対面とオンラインのハイブリッド形式）

2024年度助成事業（計8事業）

■若手研究者部門

- ①交通バリアフリーに関する法的研究
- ②ユニバーサルデザインタクシーは、車いすユーザーにとって移動手段のひとつとなりえるのか

■一般部門

- ③公共交通機関をベビーカーで利用したいと考える保護者支援とは
～兄弟を含む多胎児等家庭保護者の捉えを資料として～
- ④ロービジョンがある人の夜間歩行を支援可能な光の発光条件と照射条件の評価
- ⑤知的障害者の公共交通利用における心のバリアメカニズムの解明 ー主に特別支援学校通学児を対象に
- ⑥外部団体が管理している鉄道駅におけるバリアフリーの有効性に関する研究

■研究・活動部門

- ⑦障害者や高齢者の移動のラストワンマイル(徒歩圏)をICTで支援をするためのスマホ教室の開催
- ⑧精神障害・発達障害のある人の鉄道交通利用に伴う意識調査

- 2023年度の採択者と審査委員との意見交換会を実施
- 2022年度(2020年度・2021年度の延長分含む)の助成事業の成果報告会(第16回)を開催

4. 交通バリアフリー情報提供システムの運営等

高齢者、障害者等が公共交通機関を円滑に利用できるようにするため、駅構内のバリアフリー施設、乗り換え案内のバリアフリー情報をインターネット等で提供するシステム(らくらくおでかけネット)を運営しています。

【総アクセス数】 ※2023年4月1日から2024年3月31日まで
約1,185万件（約3万2,600件／日）

- 交通事業者への調査を行い、新規及び変更のあった駅情報の更新を実施
- 「らくらくおでかけネット」のアクセス数はやや増加
※前年度比1.1倍（2022年度の総アクセス数は約1,086万件）
- 他事業者間の乗換経路情報の充実を図るための検討を実施

- ・ 大阪府内の「新大阪駅」、「京橋駅」、「天王寺駅」の3駅を対象に、障害当事者との現地調査、意見交換を実施し、テキストによる他事業者間の乗換経路案内を作成しました。
- ・ 2022年度に作成した3駅分の乗換案内をらくらくおでかけネットに試行掲載しました。



乗換案内作成のための現地調査の様子
(天王寺駅)



乗換案内の試行掲載イメージ(市ヶ谷駅の例)

5. 交通サポートマネージャー研修の実施



交通事業者のバリアフリー接遇・介助水準の向上、バリアフリーへの理解促進を図るため、障害当事者が講師として参画する交通事業者向けバリアフリー研修(交通サポートマネージャー研修)を実施しています。

【開催回数】 計8回

- ・ 鉄道・バス合同の研修を首都圏で3回、関西圏で2回開催
- ・ 神戸市交通局(地下鉄)、京都市交通局(地下鉄)、京都市交通局(バス)の単独研修を各1回開催

【受講者数】 211名 累計受講者数：2,222名(2023年度末時点)

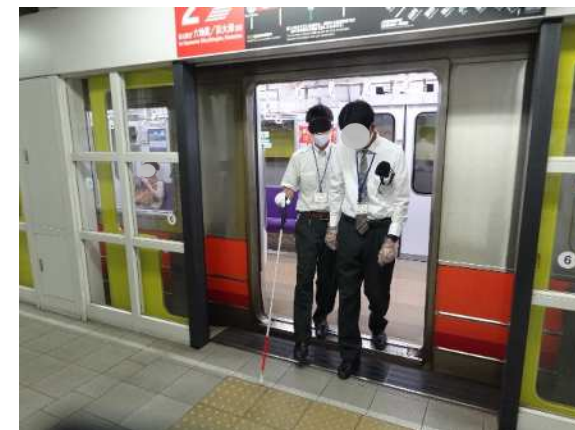
● 個別事業者向けの「導入編」研修を2回実施(58名修了)

● 研修内容の改善や普及促進のための取組みを実施

- ・ 講師とのオンライン意見交換会
- ・ 障害当事者リーダー養成研修の共催(講師の育成)

● 旅客船事業者向けバリアフリー研修を2回開催(41名修了)

- ・ 旅客船事業者の職員等を対象とした新たな研修プログラムの開発、テキストの作成を実施
- ・ 有識者、障害当事者、旅客船事業者によるワーキングを立ち上げ、議論した結果をもとに検討を実施



駅構内での実技の様子
(交通サポートマネージャー研修)



旅客船事業者向けバリアフリー研修の様子

6. 公共交通事業者等に向けた手話教室の実施

障害の理解と聴覚障害者の公共交通機関による移動円滑化を図るため、首都圏と関西地域で公共交通事業者等に従事する方を対象とした手話教室を開催しています。

【対 象】 主に交通事業に従事している方(初めて手話を学ぶ方を対象とした入門編)

【開催形式】 首都圏：オンライン 関西：対面

【開催期間】 首都圏：5月25日～7月27日 [全10回]
関 西：5月10日～11月1日 [全25回]

【修了者数】 全回数の7割以上を出席した方を修了者に認定

首都圏：5事業者 5名

関 西：6事業者 11名



首都圏の実施の様子(オンライン)



関西の実施の様子(対面催)

7. バリアフリー推進のための勉強会等の実施

交通バリアフリーに関するハード・ソフト両面の課題や最新の動向を踏まえたバリアフリー推進勉強会、国内外の学術団体や障害当事者等と連携したセミナーを開催し、新たな知見や情報の発信に取り組んでいます。また、小中学生向けバリアフリー学習プログラムの実施などを通じた、バリアフリーの普及・啓発活動にも取り組んでいます。

● 様々なテーマを取り上げたバリアフリー推進勉強会を6回開催

- ・ 見えにくい障害、船旅・島旅 【東京2回】
- ・ ユニバーサルツーリズム、広域移動のバリアフリー 【関西2回】
- ・ 地域交通(LRT)、空港ユニバーサルデザイン 【他団体との共催2回】

● 小中学生向けバリアフリー学習プログラムを実施

【2023年度実績】

小学校17校、中学校10校、大学・自治体等5件

● 見えにくい障害に対する移動円滑化推進のための検討を実施

- ・ ひまわり支援マークのトライアルを実施
- ・ おでかけサポートカード(失語症版)を作成

● バリアフリー推進アドバイザーの委嘱など、障害者団体と連携した取組みを推進

● 交通バリアフリー関連の文献や報告書等の収集・整理を実施

 〇〇 まで行きたいです	 スロープをお願いします		
 〇〇 まで行きたいです	 車椅子を押して下さい	 さい X です	 困っています
 お願いします	 チャージをお願いします	 こさい です	 右側が見えにくいです
 体が不自由です 席を譲ってもらえませんが	 バス乗り場を教えてください	 下さい	 体調が悪いです
 トイレの場所を教えてください	 エレベーターの場所を教えてください	 さい	 路線図を見せて下さい
 何かあったらご連絡をお願いします		 自由記述欄	

失語症版のおでかけサポートカード

■勉強会・セミナー等の開催実績（2023年度）

① バリアフリー推進勉強会

第71回 目には見えにくい障害における対応報告会 【参加者数】112名

日時：2023年12月8日(金) 会場：産業技術総合研究所副都心センター別館11階 / オンライン

第72回 船旅・島旅とバリアフリーを考えるセミナー@竹芝 【参加者数】90名

日時：2024年3月11日(月) 会場：東京ポートシティ竹芝 3階 まちづくりプラザ / オンライン

② バリアフリー推進勉強会 in 関西

第17回 ユニバーサルツーリズムの取り組み ～兵庫県の事例から～ 【参加者数】83名

日時：2023年10月6日(金) 会場：三宮研修センター5階 505会議室

第18回 みんなで考える広域移動のバリアフリー化をめざした合理的配慮の提供 【参加者数】79名

日時：2024年2月19日(月) 会場：エル・おおさか(大阪府立労働センター) 6階 大会議室

③ 日本福祉のまちづくり学会等との共催セミナー

日本福祉のまちづくり学会 第26回全国大会連携セミナー「LRTを軸に地域の移動と交通を考える」

主催：日本福祉のまちづくり学会事業委員会

日時：2023年9月29日(金) 会場：栃木県総合文化センター 3階特別会議室

空港施設ユニバーサルデザインセミナー in Haneda

主催：日本福祉のまちづくり学会事業委員会、中央大学研究開発機構、全国空港事業者協会、
交通エコロジー・モビリティ財団

日時：2023年10月12日(木)、13日(金) 会場：TIAT SKY HALL / オンライン

8. 高齢者・障害者等の移動円滑化促進のための調査研究

2021年の東京オリンピック・パラリンピック開催後、移動円滑化に関する様々な施策の進展がみられました。施設整備のみならず、設備を円滑に使うための役務の提供、情報提供や接遇・介助に関するガイドラインも整備され、アクセシビリティの確保が求められるとともに新しい課題が生まれています。そこで、移動円滑化の促進に資することを目的として、バリアフリーの様々な課題に関する調査研究を実施しています。

- 中央大学、全国空港事業者協会等と連携し、ユニバーサルデザインに関する空港施設の調査(診断)を実施
【調査対象】 羽田空港、新潟空港、熊本空港、宮古空港、岡山空港
- 鉄道駅のユニバーサルデザインに関する評価方法の検討に参画
- 大阪・関西万博に向けて、交通事業者の接遇に関する「バリアフリーサポートBOOK」を作成
 - ・「大阪・関西万博に係る交通事業者のバリアフリーソフト対策検討会」を立ち上げ、有識者、障害当事者等と議論を実施
- 台湾デザイン研究院と案内サインや交通のユニバーサルデザインに関する相互協力の覚書を締結
- 移動円滑化評価会議、サインに関するJIS関連委員会等への参加を通じて交通バリアフリーの動向を把握



バリアフリーサポートBOOK

■その他の活動報告（2023年度）

① 他団体が主催するイベント等の共催

- ・ DPI障害当事者リーダー養成研修 / DPI日本会議
- ・ 空港施設のユニバーサルデザインセミナーin羽田 / 中央大学研究開発機構、一般社団法人全国空港事業者協会、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会
- ・ 日本福祉のまちづくり学会連携セミナーin宇都宮「LRTを軸に地域の移動と交通を考える」
/ 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会事業委員会
- ・ 共生DX連続セミナー(1)及び(2) / 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会ICT特別研究委員会

② 他団体が主催するイベント等の後援

- ・ 日本福祉のまちづくり学会第26回全国大会(宇都宮大学)
/ 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会事業委員会
- ・ 第37回リハ工学カンファレンスin東京 / 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
- ・ 2023年度第15回全国精神保健福祉家族大会 / 公財社団法人全国精神保健福祉会連合会
- ・ 第20回ピポ・ユニバーサル駅伝大会 / NPO法人コミュニケーション・スクエア21

③ 他団体が主催するイベント等の協賛

- ・ 「私とみんてつ」小学生新聞コンクール / 一般社団法人日本民営鉄道協会

■その他の活動報告（2023年度）

④ 委員会等への出席

【委員会（1/2）】

- ・ 道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会 / 国土交通省道路局
- ・ 子育てにやさしい移動に関する協議会 / 国土交通省総合政策局バリアフリー政策課
- ・ 日ASEANバリアフリー専門家会合 / 国土交通省総合政策局国際政策課
- ・ JISS0052改正原案作成委員会 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ・ ダイナミック・サイン国際標準開発国内委員会 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ・ JISZ8210原案作成委員会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ 案内用図記号のデザイン原則及び試験方法JIS委員会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ 案内用図記号のデザイン原則及び試験方法JIS分科会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ 図記号作成分科会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ ISO/TC145/SC1 国内委員会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ アクセシブルデザイン推進協議会(幹事会メンバー) / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ AD国際標準化委員会 / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ ISO/TC173/SC7 国内検討委員会 / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ 新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会
/ 公益財団法人共用品推進機構
- ・ ISO/TC178 国内審議委員会 / 一般社団法人日本エレベーター協会
- ・ JISZ9098原案作成委員会 / 公益財団法人日本保安用品協会

■その他の活動報告（2023年度）

④ 委員会等への出席

【委員会（2/2）】

- ・ JISZ9098(災害種別避難誘導標識システム)原案作成委員会分科会 / 公益財団法人日本保安用品協会
- ・ ふじのくにユニバーサルデザイン推進委員会 / 静岡県くらし・環境部県民生活局
- ・ 東京国際空港ターミナルユニバーサルデザイン評価委員会 / 東京国際空港ターミナル株式会社
- ・ 秋田空港ユニバーサルデザイン基本計画策定委員会 / 秋田空港ターミナルビル株式会社
- ・ オーバーツーリズム関連ピクトグラム通用性の確認 / 株式会社JTB
- ・ 一時滞在施設の図記号の検討にあたっての意見照会 / 社会システム株式会社

【講師・講演】

- ・ 国土交通大学校令和5年度専門課程バリアフリー施策基礎研修
/ 国土交通省総合政策局バリアフリー政策課
- ・ 令和5年度バリアフリー講習会in別府国際観光港・in宮崎港 / 国土交通省九州運輸局
- ・ 人権問題体験学習会 / 公益財団法人東京都人権啓発センター
- ・ 令和5年度保健医療福祉行政論Ⅱ講義 / 国際医療福祉大学大学院
- ・ 令和5年度神奈川県西域バリアフリーの街づくり圏域別普及・啓発事業 バリアフリー体験講座
/ 神奈川県小田原保健福祉事務所
- ・ 2023年度目に見えにくい障害者への対応セミナー in Haneda / 一般社団法人全国空港事業者協会